



Contact:

東京

吉澤 進治

アナリスト

ストラクチャード・ファイナンス

ムーディーズ・ジャパン株式会社

お問い合わせ電話番号：03-5408-4100

報道関係者専用番号：03-5408-4110

ロンドン

ニーラム デサイ

シニア・ヴァイス・プレジデント

ストラクチャード・ファイナンス

ムーディーズ・インベスターズ・サービス

お問い合わせ電話番号：44-20-7772-5454

報道関係者専用番号：44-20-7772-5456

## ムーディーズ、こすもす 2007 の格付けを据え置き

2009 年（平成 21 年）8 月 3 日、東京、ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、「地域金融機関 CLO シンセティック型（株式会社こすもす 2007）（平成 19 年度大分県 CLO 含む）」の A 号及び B 号無担保社債の格付けをそれぞれ Aaa、A2 に据え置いた。本社債は、2009 年 4 月 30 日から格下げ方向で見直しとなっていた。

本社債は、日本政策金融公庫（旧中小企業金融公庫）の「買取型」スキームのもとで、12 の参加金融機関が募集した中小企業向けの貸付債権を参照するシンセティック CLO である。当該貸付は、各参加金融機関が当初より証券化することを目的として実行されたものである。

本社債の格付け分析においては、参照プールのパフォーマンス悪化を考慮して、当初の水準より高めのクレジット・イベント率の想定（年率 4%台）が現状適用されている。本取引では、参照プールを構成する債権が期中元金均等返済されるにつれて、上位トランシェから償還が行われるため、A 号、B 号の劣後比率はこれまでほぼ一貫して上昇している。この効果のため、今後、参照プールに上記クレジット・イベント率の想定を上回る水準で損失が発生しても劣後比率の低下は限定的である。これらの要素を考慮した結果、A 号及び B 号社債の格付けを据え置くこととした。

本取引の格付けに利用された主な格付け手法は、“Japan’s SME CDOs : Focal Points in Rating Analysis and Monitoring”であり、www.moody’s.com の“Credit Policy & Methodologies”ディレクトリ、“Ratings Methodologies”サブディレクトリで閲覧することができる（当該格付け手法の日本語版「日本の中小企業 CDO：格付け分析における留意点とモニタリング実務」（2009 年 2 月）は、www.moody’s.co.jp の「格付け手法」ディレクトリ、「ストラクチャード・ファイナンス」サブディレクトリで閲覧することができる）。また、格付けの過程で考慮された他の格付け手法及び要素も“Credit Policy & Methodologies”ディレクトリで閲覧することができる。

格付けアクションの詳細は以下の通り。

地域金融機関 CLO シンセティック型（株式会社こすもす 2007）（平成 19 年度大分県 CLO 含む）

(1) A 号無担保社債 6,500,000,000 円

Aaa を据え置き

前回の格付けアクション：2009 年 4 月 30 日、Aaa を格下げ方向で見直し

(2) B 号無担保社債 10,000,000 円

A2 を据え置き

前回の格付けアクション：2009 年 4 月 30 日、A2 を格下げ方向で見直し

ムーディーズ・インベスターズ・サービスは格付けの意見およびリサーチを出版する会社である。証券の募集・販売、あるいは募集を行う会社の代理業務を行うことはない。また、このプレス・リリースは証券の購入、保有、または売却を勧誘・推奨するものではない。

以上